夕刊 いわき民報

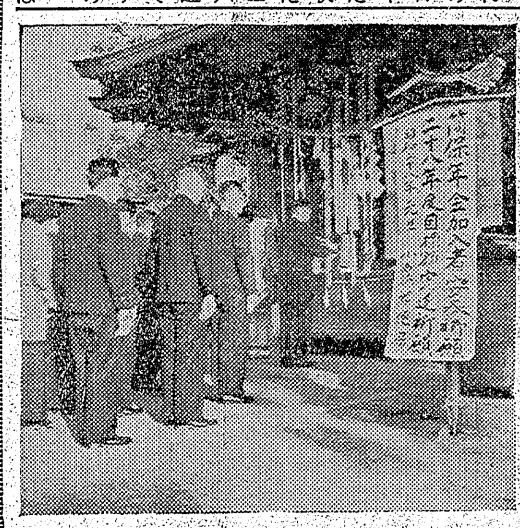
発行所 平市田町48 電381 1222 いわき民報社
印刷兼発行人 田原登
編集兼発行人 田原登

謹賀新年
株式会社 藤森商会
平市鍛冶町電二九六 四七一
商級事務用品 金庫 計算器

ハガキが品切れ

年賀電報も割當を突破

お正月はどこもごもあわただしいが、特に新年の挨拶状を取扱った平郵便、電報両局はテンヤワンヤで局員たけでは間に合わず三十名のアルバイトを動員して徹夜の連続でやっと間に合せた一郵政省から割当られたお年玉つきハガキ二十万三千枚は十一月中に売切れこれに答ってお目見えした四円の年賀ハガキ五万枚も暮の二十六日には売切れで、普通の官製ハガキが飛ぶように売れ品切れになったと云う話、同局で取扱った年賀状は二百九十五万枚に達した、また電報局取扱の年賀電報も暮の十五日から新年四日までに三千二百六通に達し通信局からの割当二千通をはるかに突破、十日の締切までには三千三百通を軽くオーバーするもよう、発信人はお得意相手の商工、炭鉱関係が大部分で漁業、官公庁関係は数える程度、行先は東京、福島、仙台の順で市内配達も調輸関係などで昨年の二倍を突破する好調振りだった



平将棋碁衆会新春指始め打始め将棋、碁会成績左の通り

指初め會成績

◆将棋A組❶鈴木文男❷三浦宗三郎❸本田孝次郎❹佐藤正夫B組❶石山雅吉❷沢田一男❸古河清❹及川進C組❶太田正啓❷伊東一男❸青木清定❹石井政義

◆囲碁A組❶橋本渡❷鈴木安正❸吉井修❹菊地保啓B組❶井幡正❷村田政雄❸柴崎秀雄❹遠藤光二

郡連青團長會

七日に開く

石城郡連青団長会は七日午前十時から湯本町公民館で開き下半期行事運営について協議する

月水は週休

深夜に二回

休電も續く

東北電力平営業所では渇水にあるので四日から週二回の電休日と毎深夜（午前零時から同六時まで）の二回停電を実施する、週休日は毎月曜日、水曜日（午前七時半から午後四時）深夜停電は一時間にわたる停電二回となっている

椎名醫三氏招き

文藝講演會

十一日湯本で

湯本町公民館図書部、教養部共催の新年特別文芸講演会は十一日午後一時から同館ホールに開く、講師は『深夜の饗宴』で文壇にデビユー長篇『永遠の序章』を書下して戦後日本文学界の第一人者となった椎名醫三氏で演題は『戦後日本文学について』なお同六時から同氏を囲み『人生について』座談会を開く

賣出終了御禮

三丁目商店会年末年始大売出しは皆様の絶大なお引立によりまして盛況のうちに無事終了いたしました今後とも一層の御愛顧を賜わりたく厚く御礼申上げます

昭和二十八年一月

三丁目商店會

瓦をタネに

七萬圓詐取

茨城県久慈郡久慈町本町あめ製造業久保木有美(三)水戸市生れ住居不定無職後藤近(三)の両名は二十六年十二月中旬ごろ磐城村西郷農業稲岡守さん(五)に『瓦を世話する』と偽って手附金一万円を詐取したほか同じ手段で九件、七万円の詐欺を働らいた疑いで平地区署に逮捕された

天気予報

五日

【今晩】東風で雨又は雪が降る

【明日】朝のうち北風で雨又は雪のち北西の風となり暗れて来る海上今晩は北西の風やや強くシケるから漁船は注意を要します明日は季節風が強く風波は高いでしょう

新春隨想

道路の開發

小齊要三郎

人間には太陽や水や空気が無かったら生を得ることが出来ないように此の有難い恩恵を受けていると同様、道路にも又同じようなことが云い得るのであるしかし一般には道路に対する認識は至って薄いようである

人智の発達に伴って経済観念が起り通商路が出来文化的政治的交通が開け自動車の発達に従って道路も重い車がめり込まないような工夫から、幅巾も広く屈曲も大きく勾配も緩にする様になってきた、そしてトレラートラックやバスなど大型化し重量化し、高速度化した車輛が出現して、道路に課せられた負担又交通上の危険は増える一方となった、結局自動車の量の如何に依つて地方の産業発展の状況が解るのである、東北の京浜地帯と云われる常磐地方は自動車交通量が余りに多くなったのである、国力のエネルギーである石炭の産出年間二百八十万屯、小名浜港を中心とした石城七浜の国民栄養の中核をなす動物性蛋白たる水産資源も年間二十三百万屯の水揚げを有し、林産資源十万屯の搬出量も平市を中心とした人口三十万と自動車二千台が毎日ふくそうし大都市の要衝を現している、併し道路の現況はと見るに誠になさけない有様である

今只見川の電源開発が大きく浮び上り、之れが目的が完成近きとき福島県のドル箱である当地方の産業発展の基礎であり又国力算定の基礎である交通網の整備拡充を放置して本県の繁栄何如にあるやと云いたい

最近全国各都府県に於ては国民の盛り上る力を背景として各地域の特色ある総合開発計画が策定されようとしている、寒に此れが終点を小名浜迄延長しいます

二級国道綱人の実現

人智の発達に伴って経済観念が起り通商路が出来文化的政治的交通が開け自動車の発達に従って道路も重い車がめり込まないような工夫から、幅巾も広く屈曲も大きく勾配も緩にする様

帯と云われる常磐地方は自動車交通量が余りに多くなったのである、国力のエネルギーである石炭の産出年間二百八十万屯、小名浜港を中心とした石城七浜の国民栄養の中核をなす動物性蛋白たる水産資源も年間二十三百万屯の水揚げを有し、林産資源十万屯の搬出量も平市を中心

ばせながら有志相計り常磐地区産業道路総合開発期成同盟会を発足した次第です、二十八年度に於ける主要な要望は左の通りである

一、新潟―小名浜線が現在新潟―平線迄になっているので此れが終点を小名浜迄延長しいます　（平土木監督所長）

二、国道改良に於て湯本町八仙地内より磐手し泉方面に向って工事を進める点

一、平―四倉間の国道大改良要望

一、上三坂―平線内郷地内常磐線の踏線橋を設置し好間方面の換線工事

一、国道六号線内郷―平間の舗装完了

一、小名浜地内湯本、小名浜間の舗装二千米

一、平市地内新田橋鉄筋コンクリートへの架換

一、江名―平線の浜道路の改良二十七年度の継続事業

一、其の他県道事業は要望数が余り多いので何カ所採用なるや未定である

幾百年の大計による大開発道路の綿密計画に就ては県に於てパンフレット作製中でありますので近々発表の折があること、思います　（平土木監督所長）

あす表彰

内郷の優良消防團員ら

内郷町消防団では六日午後二時から役場会議室に副団長以上関係者六十名が集まり左の優良消防団員並びに民間協力者の表彰を行う

▼模範団員　一分団　佐藤盛三部洪一　二分団　秋山正一後藤哲夫　鈴木政十　三分団　鈴木明　四分団　鈴木重雄　山幡明　五分団　遠藤純章　長塚要吉　六分団　佐藤新一　七分団　菅野正夫　八分団　猪狩徳松　辻重六

▼民間協力者　宮字代　伊藤トク＝昨年四月二十八日夜隣家の大橋鶴之助さん方から発火した時早期に発見急報すると共に消火に努めたもの、宮小六年生相長三郎＝昨年十一月三日夜宮字堅子横山肇三郎さん方より発火した時早期に発見近所の人々に急報し消火に努めたもの

トリ小屋の悪習一掃へ

好間で指導

好間村小田方部児童補導委では恒例の十四日〝トリ小屋〟の行事について青少年の不良化防止と無風習の一掃を計るため同会が音頭をとり平地区署と協力して指導に乗り出すことになった

珠算試験

二月一日行う

第十七回珠算能力検定試験は二月

明るい家庭の設計に
定期預金も
無税　一口千圓　六カ月　特賞10萬圓以下
空くじなし　無記名でもお取扱いたします
皆様の
大東相互銀行

お知らせ

桑原仙松儀十二月二十八日死去につき喪中のため新年の挨拶を遠慮申しあげます

昭和二十八年一月

桑原ナカ
桑原英雄

新春

福島縣知事登錄（ロ）五七號
堀江工業株式會社
專務取締役　長谷川常吉

平土木監督所
所長　小齋要三郎

丸一材木店
瀧口豐
平市五丁目　電二九〇
工場　平市爾宮町　電五五六

湯本温泉旅館組合

品川白煉瓦株式會社　湯本工場

一九五三年の御旅行は
快適な
ロマンスカーで
初詣り
修學旅行
レクリエーション
商店會の御招待
名所舊跡の
觀光に
ゼヒ御利用下さい

常磐交通自動車株式會社
電話343・1076・322

いわき民報　夕刊　昭和28年1月6日（火曜日）第2034号　【8】
（第三種郵便物認可）
日刊（除月曜）1カ月金100円郵送126円（週2回四頁建）
定価一部（二頁）3円（四頁）6円

新春から大活況
イワシの大漁續く

独立して初の新春を迎えた小名浜魚市場では大羽イワシの豊漁で明け暮れ漁船は元日休業したけで操業に出掛け本年に入ってから五日正午まで三万七百貫の水揚げをみせ浜は活気に満ちている、三日は二万貫、四日二百貫、五日五百貫と連日の水揚げでそのうち約大割は青森県廻船が漁獲しているのが目立っている、五日早朝の水揚価格は貫当り商値百九十円、安値一円七十円で取引きされた

來る十一日辯論大會
市連青成人の日の中心行事

平市連青では正月行事として十八日名を招待して祝うほか平市連は五日の成人の日を中心に次の行事を行うことになった

▼石城郡連青共催、平市、平市教委会後援の県連青弁論大会平、石城地区予選は十一日午前九時から平市公会堂本館で開く、参加申込みは八日まで中平窪畷谷良平宛、題材は自由で十分以内

▼平市、市教委会後援の平市連盟青年会議は十五日午後一時から平市公会堂日本間で開く、この日は成人になった平市内の男女および青の各地区会長、評議員の間で発足二年間の成果について懇談、今後の活動、青年会の在り方について協議する

▼平市、市教委会、レクリエーション協会後援のレクリエーション指導者講習会は十八日午前九時から平市公会堂本館、日本間で開く『組織活動にレクリエーションをいかに取入れるか』講師は丹野清栄氏（県社会教育課）参加申込みは平市下平窪尚田惣子宛、入場無料

剣道納會
神谷支部で

磐城剣友会神谷支部では旧盆中から十日間公民館で寒稽古を行ない四日午後一時からこれが納会を開いた、出席剣士三十余名、関内前代議士や新聞教師、志賀市議ら参列した

泥棒が毆る
強盗容疑に

過本地区警では三日同町下浅貝九〇無職闇屋武夫(三)を強盗容疑で逮捕した

闇屋は一日午後八時ごろ同町天王崎雑貨商店司のぶよさん方からゴム長靴一足八百五十円相当を盗んだところを同字地内の商梨幸七さんに発見され『泥棒』と連呼されたので慌てて逃走したもの

三喜藏師招き
常磐津稽古

月に一回來平

故常磐津松尾太夫の高弟常磐津三喜蔵師を招いて新年一月から毎月常磐津出張稽古を行うことになり芸能愛好者をよろこばせている

同師は東京一流劇場出勤者で平市の稽古場は新田町二葉館と決まり期間は一週間の予定で午前十時より午後十時まで、入門料二百円のほか月謝は特に六百円

家人の入門を歓迎している

自轉車盗まる

草野村下神谷平機関区機関士坂本長蔵さん(四)は四日午後六時ごろ平駅内乗務員詰所内に置いた中古自転車一台（一万円相当）を盗まれた

精神衛生研究會

六日湯本一小

磐城郡平市小中学校精神衛生研究会は来る六日午前十時から湯本一小講堂に開き能力別学級編成、特殊児童生徒の指導法、吃音児童生徒の指導研究などについき協議する

毛布など盗む

自称千葉県海上郡富浦村生れ住居不定無職鈴木芳男(三)は一日午後七時ごろ四倉町自動車業伊藤実さん(三)方の車庫内のトラック運転台から毛布一枚、布団一枚（千五百円相当）を盗み一日夜平地区磐へ捕まった

詩

元旦　富傑

郷の山河草木おだやかに
純白き雪とよそほひて
天津日の燃えし跡に
うけにし季とかわりなく
明くる自然の春を待つ
初日に匂ふ日の丸
見あぐるひとみ
独立日本の元旦に
希望の夢を青陽にのせて
平和の鐘があかるく響く

加工屋18軒で利用
赤外電球乾燥が普及

東北電力営業所では昨年から東北地方では初の試みである赤外線電球による水産加工物、麺類の乾燥法について試験を行ってきたがこの程成功をみたので磐城七浜の水産加工業界へ奨励したところ特にカマボコの表面ツヤ出しには効用が大きいのですでに石城郡下の水産加工業十八軒が採用、引ばりだこの申込みが殺到して係員を寄せている

この用法について箱崎専門係りはカマボコが従来天日や炭火で乾燥されていたのでツヤも悪く製品の商生上もあまり良くなかった、或る業者はこの用法で製造したカマボコを東京市場の三越、松坂屋へ出したところ磐城カマボコが好評を得て成績は上々、このため注文がどしく来るという話も聞いている、この施設費用は電球四個（一個八百円）と工事費千五百円で出来上り大衆生産もできるものだと語っている

わが家の逸品
觀音様
鈴木廣永氏の所藏

昭和十九年の秋中華民国湖南省衡陽県城外の半ば崩れかゝつた一農家に休憩した、兵火のため農民は一人も居らず全くの廃きよであつた、兵士たちが炊事をするのに薪をするのに丁度よい木で珍らしいものだからと思う木で珍らしいものだから細い所を五寸位切つて図のうに入れて置いた『びやくだん』の中に入れて置いた、柳州と言う所に駐留して居る時兵士が餅をつくとき用いる様な杵の中に美術学校を出た彫刻家が居つたので予て図のうの中を見つけた、長い年月使つたものと見えて中程の細いところは光沢が出ていた、よく見ると木質が『びやくだん』と判つた

集めて来たがその中に月の世界の兎の様に依つて幾度か生死の線をさまよい乍らも病気もせず命永らえて今日なお頑健で天職に精進して居られるのである

この観音様は戦塵の内に何の道具もなくナイフ一丁で刻んだもので高さ五寸他人から見れば三文の値もなく書画骨董的の値は全くないが私丈には金銭を以て買うことの出来ない守り神である、私は肌身はなさず彼地から持帰り今でも朝夕拝して居り何物にも代えることの出来ない我家の宝として居る

（本社会計元陸軍主計大佐）

部部部部部
ン子機理
メセ硝電修
6 5 1 …
6 3 1 …
9 0 1 …
9 …金物部
9 9 …會計部
9 9 9 …庶務部
9 3 9 …鐵鋼部
1
社會名諸橋合名會社
㊊釜屋

A HAPPY NEW YEAR!
昭和28年　1953

謹賀新年
平市鐵工業會
會長　佐藤源吉

謹賀新年
株式會社　日本平建物營業所
大工　平市大町三
長市　湯本町三函一五〇
所平　小名浜町下町一八
植田町本町七一
小野幸次郎
（出張代理店）
弘3
佐々木建設工業所
館岡　潔
造

謹賀新年
福島縣酒類卸協同組合
平支店
支店長　荒川千代造

謹賀新年
平地區米穀卸賣協同組合
理事長　片寄保

謹賀新年
平營業所
郡山營業所
千代田經濟株式會社

謹賀新年
利殖確實
融資簡便
三菱殖産
平營業所
平電話白1銀3町8 1 1 4番

謹賀新年
株式會社　大丸
取締役社長　横山徳男
専務取締役　沢田留之助
常務取締役　横山久芳
取締役石油部長　本館誠一
百貨部長　大原宗平
本社　平市才槌小路十二（電一三三一）
百貨部　平市三丁目三〇（電八九八）
石城郡営業所　平小名浜　四倉　日立
（旧社名　日本海洋株式会社）
昭和二十八年元旦
何卒倍旧の御支援御引立の程を御願申上げます
独立最初の新春を記念し社名を後記の通りに改め且つ石油部を拡張し平市大工町一五及び日立市宮田字大森一七二八に新営業所を開設発足の運びに至りました。心気一新百貨部と両々併行一層皆様の御愛顧と御期待に御応え申上げる覚悟でございます

本日休診
年末年始の大売出しは皆様の絶大なお引立のお陰で盛況裡に終えることが出来ました。厚くお礼申上げます。
六日は店員のお正月のため休ませて頂きます
越藤
小名浜
平市
越藤